

(件名) 始良家畜保健衛生所の移転先の見直しについて

(陳情の趣旨)

私たちは牧園町高千穂地区に暮らす住民の会です。

昨年12月に、高千穂地区に、現在始良市加治木にある、始良家畜保健衛生所が移転してくるという話を聞きました。すでに県は市から土地を取得していました。ほとんどの住民はこの話を知らない寝耳に水の話で、県に説明会の開催を求めました。

しかし「高千穂地区の役員に説明してある。」と当初取り合っただけませんでした。

その説明を聞いた役員に確認したところ、「和牛共進会の説明がほとんどで、家畜保健衛生所は十分な説明もなく、周知依頼もなかった」とのことでした。私たちは再度説明会の開催を要請しました。

令和5年1月25日に開催されましたが、私たちの質問に対して十分な回答は得られませんでした。再度の説明会の開催を要求し、4月16日に開催されましたが、説明の中身はほとんど変わりませんでした。

説明会の際、私たちは大きく二つのことをお伺いしました。

一つ目はこの施設が周りに与える影響のことです。焼却施設からの煙・匂いや、家畜感染症発生時の施設周辺への石灰散布などを危惧しています。説明会では「煙も匂いも出ません」と言ったり、「温度が上がるまでは出るかもしれない」と説明は二転三転しています。私たちは肝付家畜保健衛生所に行き、近隣住民宅で聞き取りをしたところ、匂いが発生するとの証言が得られました。

また、始良家畜保健衛生所移転整備事業の令和4年度予算説明資料において、「家畜の解剖検査や焼却等住環境として不適切」「周囲住民からの移転要望」との記述がありました。畜産課からは「周辺からの苦情はありません」との説明がありました。資料と矛盾しないかとの問いには明確な回答がありませんでした。

この案件は住民が全く知らない形で進められていたため、私たちは不信が増すばかりでした。

二つ目はこの地区が設置に最も適切であるとされた経緯・理由です。

霧島市や湧水町は畜産も盛んな地区であり、老朽化した始良家畜保健衛生所が新たに整備されることは、望ましいことです。

ただ、霧島市は広く、畜産が盛んなのは溝辺や横川、福山です。候補地の中には溝辺や横川も含まれていたと聞きました。高千穂地区をなぜ選ばれたのか。2時間以内で全ての担当圏域に行ける場所を選んだ」との説明もありました。始良伊佐圏内は2時間あれば多くの地域でほとんどの場所へ移動できます。

高千穂地区は、観光を基幹産業とする鹿児島県において、さらにその中心地の霧島温泉街が所在する、由緒ある観光拠点地区であります。そのシンボルの一つが県の施設であるみやまコンセールです。昭和55年から霧島国際音楽祭がスタートしたことをきっかけに平成6年に整備していただきました。芸術文化拠点地区として、県がこの地区を認めてくださっていることに喜びを感じ、鹿児島の文化高揚・発信、国際交流に地域住民も一丸となって協力してまいりました。

移転予定地はその、みやまコンセールからわずか100mほどしか離れておりません。

イベントがある時に駐車場として使用される土地の目の前です。県はなぜこの場所を選んだのか、と。

これは、畜産課が観光・文化部門との連携が取れていなかったからではないか、県庁の縦割りのせいではないか、知事は全くご存知ないのではないか。知事に直接お話ししたい、そう思い、集めた4000筆あまりの署名を直接知事に手渡したい、と秘書課に連絡をしましたが、返事が返ってきたのは畜産課からでした。この時の私たちの気持ちをどうかお察してください。

私たちは、始良家畜保健衛生所の移転先の見直しを求めています。このような私たちの思いを知事に聞いていただきたいのです。それに一縷の望みをかけています。

以上の趣旨に基づき、下記事項を陳情します。

記

- 1 始良家畜保健衛生所について、知事に直接私たちの声を聞く機会を設けていただけようご意見ください。

以上